

【報道関係各位】

2021年4月27日

三谷産業株式会社

ベンチャーキャピタルファンド『Infinity Ventures IV,L.P.』に出資 ～イノベティブな企業との交流を通じて、協業ならびに新規事業創出を推進～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は、このたび、インフィニティ・ベンチャーズ LLP（所在地：東京都港区 代表パートナー：田中 章雄、以下 インフィニティ・ベンチャーズ）がとりまとめる、国内外のインターネット・モバイル業界のベンチャー企業に投資を行うベンチャーキャピタルファンドの第4号となる『Infinity Ventures IV,L.P.』に出資したことをお知らせします。

今回の出資を通じて三谷産業は、インフィニティ・ベンチャーズがとりまとめるファンドの投資先企業や同社が主催するイベントに参加する方との関係構築や、そこで得られる情報や知見をオープンイノベーション、新規事業の立ち上げなどに利活用することで、三谷産業グループおよび三谷産業グループがかかわる企業の企業価値の最大化を目指します。

■ 三谷産業とインフィニティ・ベンチャーズとのつながり

インフィニティ・ベンチャーズは、国内外の有力経営者が集まる国内最大級のカンファレンス「Infinity Ventures Summit」を14年以上主催しています。

2017年秋および2018年冬の「Infinity Ventures Summit」は、金沢市にある石川県立音楽堂で開催されました。2018年冬の開催分において、三谷産業はスポンサーとして参画し、懇親パーティーの場を金沢の文化を生かしたおもてなしで演出し、イベントの盛り上げに貢献しました。

三谷産業は現在、北陸の地域課題の解決や社会の発展に寄与するビジネスプランを募集する「MITANI Business Contest」を主催しています。2019年および2020年に開催したコンテストでは、インフィニティ・ベンチャーズ Office Director である岡田 隆太郎氏に審査員を務めていただきました。

■ 出資の狙いや今後

三谷産業はこれまで、「MITANI Business Contest」の主催や外部のスタートアップ支援プログラムに参画することにより、幅広い事業領域を有する複合企業として知見やネットワークを活かして、ビジネスを加速させるための協業や支援に積極的に取り組んできました。

このたび『Infinity Ventures IV,L.P.』への出資を通して、企業と企業との結びつきによる新たな価値の創出につなげたいと考えています。

具体的には、インフィニティ・ベンチャーズが運用するファンドの投資先企業や、同社が主催するイベントに参加する方と三谷産業とがつながり、オープンイノベーションに必要な情報や人脈、ビジネスノウハウの取得、新規事業の立ち上げに有益な協業、さまざまな学びの機会として活用していきます。

また、ファンドの投資先企業が日本市場を開拓する際のパートナーとして協力することを想定しているほか、三谷産業グループが提供する「POWER EGG®」や「Chalaza」をはじめとした各種ツールと連携できるサービスの模索にもつなげていきます。

今後も三谷産業は、「創業90年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦してまいります。



(補足情報)

【インフィニティ・ベンチャーズの概要および運用ファンド】 <https://www.infinityventures.com/>

インフィニティ・ベンチャーズは、2008年6月に設立されたベンチャーキャピタルです。国内外のネット・モバイル業界の有力経営者が700名以上集まるカンファレンス「Infinity Ventures Summit」を企画・運営し、国内外に幅広いネットワークを有しております。このネットワークを最大限に活用して、ベンチャー経営・投資において成功実績を持つメンバーが投資案件の発掘などの情報提供や出資先の経営支援を行い、出資先の企業価値の最大化を目指します。

同社がとりまとめるファンドは、主に日本や台湾などアジア地域で設立されたインターネット・モバイル業界のベンチャー企業のうち、創業してサービス提供を開始した直後にある「アーリーステージ」の企業が対象となっています。

投資案件の選定には、成長性、収益性、話題性を追跡できるスタートアップ発掘・分析ツールが用いられ、独自のデューデリジェンスプロセスを経て投資判断が行われます。2009年から2015年までに3つのファンドが組成され、投資社数は90社を超えています。運用ファンドを時価評価した累計到達金額は約176百万USドル(約180億円)に達し、累積投資金額に対して約3.7倍にまで成長しています。運用ファンドの近年の国内EXIT(投資資金の回収)案件として、株式を新規上場したウェルスナビ(株)、(株)ジモティー、free(株)が挙げられます。

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

石川県金沢市で創業して93年、ベトナムで創業して26年の複合商社です。北陸、首都圏、ベトナムを拠点に、化学品/情報システム/樹脂・エレクトロニクス/空調設備工事/住宅設備機器/エネルギーの6セグメントで事業を展開しています。商社でありながら、時にメーカーとして、また時にコンサルタントとして、お客様にとっての最適を追求するとともに、「創業90年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦しています。

2020年3月期：連結売上高 77,595 百万円/連結従業員数 3,355 名

<報道機関からのお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 経営企画本部 PR 企画室

TEL: 03-3514-6003 (担当: 木下・宮城)

<インフィニティ・ベンチャーズおよび運用ファンドについて>

インフィニティ・ベンチャーズ LLP info@infinityventures.com